

あとがき



国立大学法人鹿屋体育大学
スポーツ・武道実践科学系 教授

高橋 仁大

令和元年度のスポーツパフォーマンス研究センターの報告書をお届けいたします。ご尽力いただきました関係各所に感謝申し上げます。

「組織を動かすために必要なものは、ヒト・モノ・カネである」学生時代に、部活動のOBから言われた言葉です。学生時分にはその意味するところがなかなか分からず、「努力する気持ちが大事だ」などと思っていたものです。働き出して、自分のゼミを持ち、センターなどの組織にも携わるようになって、ようやくその意味するところが分かりかけてきたようにも感じます。

「ヒト・モノ・カネ」に恵まれたスポーツパフォーマンス研究センターは、令和元年度も着実にその歩みを進めました。鹿屋体育大学の中期目標や中期計画に貢献するような「目に見える」成果は、本報告書に記しました。それとともに、将来の日本のスポーツ界に貢献するようなタネを育む、「目に見えない」成果も積み重ねていけるよう、地道な活動を進めていく所存です。